

2025

英語（外国人留学生・編入学試験）

注意

1. 試験開始の合図があるまで、この注意をよく読んで間違いのないようにしてください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないでください。
3. この冊子の問題は7ページあります。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合は申し出てください。
4. 解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。解答用紙は1枚です。
5. 文字ははっきり書いてください。解答の文字が読みにくい場合、および問題の指示に従っていない場合は点を与えないことがあります。
6. 解答用紙には受験番号を必ず記入してください。
7. 解答用紙の総点欄・評点欄には何も記入しないでください。

[I] 次の英文を読み、1～10の問いに対する最も適切な答えをA～Dの中から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。(解答用紙 マーク)

[Redacted text block containing multiple paragraphs of blacked-out content]

(1)

(2)

(3)

4. What is the worry about [REDACTED]?
- A. [REDACTED]
 - B. [REDACTED]
 - C. [REDACTED]
 - D. [REDACTED]
5. Which of the following is true about [REDACTED]?
- A. [REDACTED]
 - B. [REDACTED]
 - C. [REDACTED]
 - D. [REDACTED]
6. Which of the following is true about [REDACTED]
[REDACTED]?
- A. [REDACTED]
 - B. [REDACTED]
 - C. [REDACTED]
 - D. [REDACTED]
7. What is the criticism about [REDACTED]?
- A. [REDACTED]
 - B. [REDACTED]
 - C. [REDACTED]
 - D. [REDACTED]
8. How did [REDACTED]
[REDACTED]?
- A. [REDACTED]
 - B. [REDACTED]
 - C. [REDACTED]
 - D. [REDACTED]

9. According to [REDACTED], which of the following is true?

- A. [REDACTED]
- B. [REDACTED]
- C. [REDACTED]
- D. [REDACTED]

10. According to [REDACTED], what is [REDACTED]?

- A. [REDACTED]
- B. [REDACTED]
- C. [REDACTED]
- D. [REDACTED]

[II] 次の1～10の()内にあてはまる最も適当な答えをA～Dの中から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。(解答用紙 マーク)

1. I don't (1) work here for the rest of my life.
A. intend to B. enjoy for C. employ by D. want as

2. (2) there be a problem, don't hesitate to contact me.
A. Should B. Must C. If D. What

3. Why is (3) so much plastic used in Japan?
A. then B. where C. there D. here

4. (4) do you think will be his reaction to this news?
A. Why B. How C. Where D. What

5. Some politicians (5) to think that they are above the law.
A. feel B. seem C. plan D. look

6. By letting us cancel one night at the hotel without any fees, the clerk has (6) us a great service.
A. done B. taken C. created D. received

7. She was loved by everyone (7) her kindness.
A. as B. for C. than D. due

8. Students who are (8) cheating during the exam face the possibility of being expelled from school.
A. obtained B. got C. accepted D. caught

9. He became angry after his (9) to repair the car on his own failed.
A. appearances B. alerts C. attempts D. adventures

10. After taking the class, we all realized (10) strict the teacher was.
A. when B. how C. what D. who

〔III〕 次の1～10の()内にあてはまる最も適当な答えをA～Dの中から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。(解答用紙

マーク

)

Mike: Hey Jeff. What's your new roommate (1)?

Jeff: Well, let (2) tell you. Ben is quite an athletic person. In (3), he received a soccer scholarship and plays on the university team. Not (4) is he good at sports, but he is also a very smart person.

Mike: Wow, he does well in sports and study.

Jeff: Yeah, Ben and I take the same economics class (5). I always ask him to help me with my homework in economics. He's really a nice person.

Mike: Sounds like you two get (6) very well.

Jeff: Yes, (7), things have been going well.

Mike: I'm glad to hear that.

Jeff: How about you? Are things going well with you?

Mike: Not too bad. I just started a part-time job as a server in a restaurant.

Jeff: (8)?

Mike: I really like my job and the people I work with. The job can be really tough when the restaurant is busy, but everyone helps each (9) out. I'm also learning a lot about customer service, so this job is a good experience for me.

Jeff: It always (10) when you have good co-workers.

Mike: I definitely agree with you on that.

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. A. like | B. seem |
| C. such | D. appear |
| 2. A. you | B. it |
| C. her | D. me |
| 3. A. effect | B. use |
| C. fact | D. real |
| 4. A. well | B. only |
| C. ever | D. either |

5. A. closely
C. together
6. A. along
C. away
7. A. beyond
C. before then
8. A. What don't you know
C. What don't you do
9. A. another
C. all
10. A. has stress on the job
C. makes a job easier
- B. besides
D. against
- B. out
D. over
- B. so far
D. until
- B. How do you know it
D. How do you like it
- B. other
D. some
- B. takes a hard job
D. chooses a job more fun

--	--	--	--

英語（外国人留学生・編入学試験）解答用紙

総 点	
--------	--

[I]

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

6. _____ 7. _____ 8. _____ 9. _____ 10. _____

評 点	
--------	--

[II]

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

6. _____ 7. _____ 8. _____ 9. _____ 10. _____

評 点	
--------	--

[III]

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

6. _____ 7. _____ 8. _____ 9. _____ 10. _____

評 点	
--------	--

--	--	--	--

英語（外国人留学生・編入学試験編入学試験）解答用紙

KEY

総 点	50
--------	----

[I]

1. C 2. A 3. B 4. D 5. D
 6. A 7. B 8. A 9. C 10. B

評 点	20
--------	----

[II]

1. A 2. A 3. C 4. D 5. B
 6. A 7. B 8. D 9. C 10. B

評 点	20
--------	----

[III]

1. A 2. D 3. C 4. B 5. C
 6. A 7. B 8. D 9. B 10. C

評 点	10
--------	----

英語 出題の意図

入試年度： 2025（令和7）年度

入試名称： 外国人留学生入試/編入学

入試実施日： 2024（令和6）年10月26日

※この「出題の意図」についての質問、照会には一切回答しません。

本試験は、外国人留学生および編入学志願者に求められる、大学での学修に耐える実践的な英語運用能力を総合的に測定することを目的としている。〔I〕では、ニュース記事という比較的アカデミックかつ社会性の高い英文を用い、語彙・文法の理解にとどまらず、内容把握力、論旨理解、情報の正確な読み取り能力を評価する。〔II〕では、大学生活や学術的場面で頻出する基本的な文法・語法について、正確に判断・運用できるかを測定する。〔III〕では、日常的な会話文を通じて、語用論的理解や自然な英語表現の選択能力を確認する。全体として、暗記中心の知識ではなく、文脈に即して英語を理解・運用する力を重視した出題となっている。

2025

学科に関わる筆記試験(日本文化学科)

〔編入学試験〕

注意

1. 試験開始の合図があるまでに、この注意をよく読んで間違いのないようにしてください。
2. 試験開始の合図があるまでは、問題冊子を開かないでください。また、解答用紙は机の上に裏返しにしておいてください。
3. この問題の本文は4ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合は申し出て下さい。
4. 解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。解答用紙は2枚です。なお、下書き用の原稿用紙を2枚配布します。
5. 文字ははっきり書いてください。解答の文字が読みにくい場合は、点を与えないことがあります。
6. 2枚の解答用紙それぞれに必ず受験番号を記入してください。

□ 次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。なお、解答用紙に答案を書く際には、標準的な原稿用紙の使い方に準拠すること。

「言語論的転回」という言葉は、一時期人間科学、社会科学の研究者の間で随分と話題となりました。一般にもちいられている言葉ではないので、難解な感じがしますが、それほど難しいことを指しているわけではありません。言語（記号）によって記されることは、社会のなかで作られているということを経験として提示しているだけだからです。

たとえば、「オバマ元大統領はアメリカの最初の黒人大統領」という文章を何気なくもちいることがあります。これは絶対的な「事実」や「真実」ではありません。客観的な表現でもありません。特定の社会のなかで（残念ながら日本の社会もその一つですが）恣意的に使用されている表現に過ぎません。

オバマ元大統領はケニア系の男性といわゆる白人に属するとされる女性との間に生まれました。したがって①この表現が適切であるかもまた問題となりえますが、現在日本で一般にもちいられている言葉にしたがえば、黒人と白人の「ハーフ」、もしくは「ダブル」です。そのような人々をどちらの人種に組み入れるかは、その時々社会において、社会的に作りだされているもの、構築されているものです。

たとえば日本で「最初に白人で大臣になったのは誰か」、という問題を問われたら誰のことを思い浮かべるでしょうか。「最初に黒人でアメリカの大統領になったのは誰か」という問いへの答えがオバマ元大統領であるとするなら、答えはたぶん中山マサ元議員（自由民主党、一八九一～一九七六）です（他の人がいるかもしれませんが）。彼女はアメリカ人と日本人のハーフだったからです。しかし、誰も彼女を「白人」とは呼ばないでしょう。ウィキペディアをみても、彼女が「日本で最初の女性閣僚（厚生大臣）であった」という記述はありますが、「日本で最初の白人閣僚」とは記されていません。

このように何気なく行われている表現からもわかるのは、言語は厳密に考えればそれ自体として「事実」を表すものではなく、社会的に構築されているということです。したがって言語による表現は、「事実」や「真理」を必ずしも厳密に言い表しているわけではなく、むしろ社会自体のあり方を示していることを指摘したのが、言語論的転回と呼ばれる議論です。

かつては十一月七日がロシア革命の記念日でした（十月革命とも呼ばれるように、当時ロシアで採用されていた暦では十月二五日ですが）。しかし、ボリシェヴィキ権力の確立という点から見ると、ここには少しおかしさがあります。一九一七年十一月七日にはたしかに冬宮を襲撃してそれまでの臨時政府を解体し、ソヴィエトがそれに代わる臨時権力となりました。

しかし、その時点で国民に約束されたことは、憲法制定議会を成立させるための選挙を行うことでした。翌年の選挙の結果、第一党になったのはボリシェヴィキではなく社会革命党です。国民は政権運営と憲法制定の権限を社会革命党に仮託したわけです。その憲法制定議会を、ボリシェヴィキを中心とする集団が実力で解散したのが（現在の暦では）翌年の一月一九日です。

つまり一度はそこに権力を移行することが約束されていたはずの憲法制定議会の権限を剥奪し、ソヴィエトに権力が一元化されたのは一九一八年一月一九日ですから、ロシア革命は一九一七年

にではなく、一九一八年に起きたと考えるでもいいわけです（正式にロシア社会主義連邦ソヴィエト共和国の設立宣言が行われたのは、この年の一月二三日です）。しかし、皇帝が退位して帝政が崩壊したのは一九一七年の三月ですから、一九一七年を革命の起きた年とすることもできます。

フランス革命の記念日はパリ祭の日である七月一四日、歴史的には一七八九年にバスティーユ牢獄襲撃が生じた日です。ここから、フランス革命は通常は一七八九年に起きたとされています。しかし、王政の廃止を革命の年と考えるなら、フランス革命で王権が停止されたのは一七九二年の八月ですから、フランス革命は一七九二年に起きたこととなります。

革命の記念日をいつとするかは、以上のような例からもわかるようにかなり恣意的です。ソヴィエト政権が、一月一九日ではなく十一月七日を革命記念日にしたのは、自らの最終的な権力奪取の「非合法性」を隠蔽するためです。このように国家の記念日は、ある意図をもって制定されています。歴史の構築性の代表的な例です。

海外ではどのような授業が行われているのかを確認するために、イェール大学の近現代史概説を見ました。第一次世界大戦の部分。第一次世界大戦が起きた時期がテクノロジーの発達と重なり合っていて、映像で戦争が伝えられた最初の出来事であるというのが講義の中心的な内容です。そのなかでとくに強調されていたのは、映像で伝えられたとはいえ、それは戦闘の現場を必ずしも直写したものではないということです。

第一次世界大戦の場合はたしかに技術的な要因もあって、戦闘を直写したかたちで報道することには困難もありました。しかし、技術がかなり発展したはずの第二次世界大戦、そして最近の戦争の報道においても、同じようなことが生じています。戦争は意外なほど直写的にではなく、構築的な要素が多いかたちで伝えられています。たとえば実際の戦闘は、死体が四散するきわめて残酷なものです。しかし、そうした残酷さは実写映像とされるものにもほとんど登場しません。

反戦映画とされるものの多くは戦争の残酷さを描いていると思いがちです。しかし、それは劇映画というフィクションのなかに「組み込まれた」残酷さとして、いかに残酷さが強調されているとしても一方ではソフィストケートされたかたちで伝えられています。なによりも多くの場合、戦争自体が構築された論理（たとえば正義）に付随するものとして、つまりある種のフィクションに付随するものとして伝えられています。それは戦争報道に関しても同じです。

このことのなかにある問題は、直写性（事実性）と虚構性（構築性）にある相互補完的な、一体的な関係です。さらに言えば、②事実を認識し伝える技術が発達するにともなって、構築的な要素の拡大が生じていることです。その影響によって、人々は構築された「事実」を知らず知らずのうちにも共有するようになっていきます。多くの人々が共有している歴史に、そのような要素があるのは否定できません。事実性を主張した近代以降の歴史学が、構築されたナショナリズムとなぜあれほど見事に結合しえたのかということの理由も、おそらくはこの点にあります。

（岡本充弘『「小さな歴史」と「大きな歴史」のはざままで』）

問一 下線部①について、「この表現」の具体的内容を明らかにして、なぜその表現の適切性が問題となりえるのかを説明しなさい（150字以上200字以内）。

問二 下線部②について、問題文の議論を踏まえて、問題文中に示されたもの以外の具体例をあげながら、「事実を認識し伝える技術が発達するにともなって、構築的な要素の拡大が生じている」ことがもたらす影響についてあなたの考えを述べなさい（250字以上300字以内）。

二 図は家庭の中で男女は平等になっていると思うかについて調査した結果である。図から読み取れる特徴を300字前後で説明しなさい。また、これらの図からあなたが考えたことを200字前後で述べなさい。なお、解答用紙に答案を書く際は、標準的な解答用紙の使い方に準拠すること。

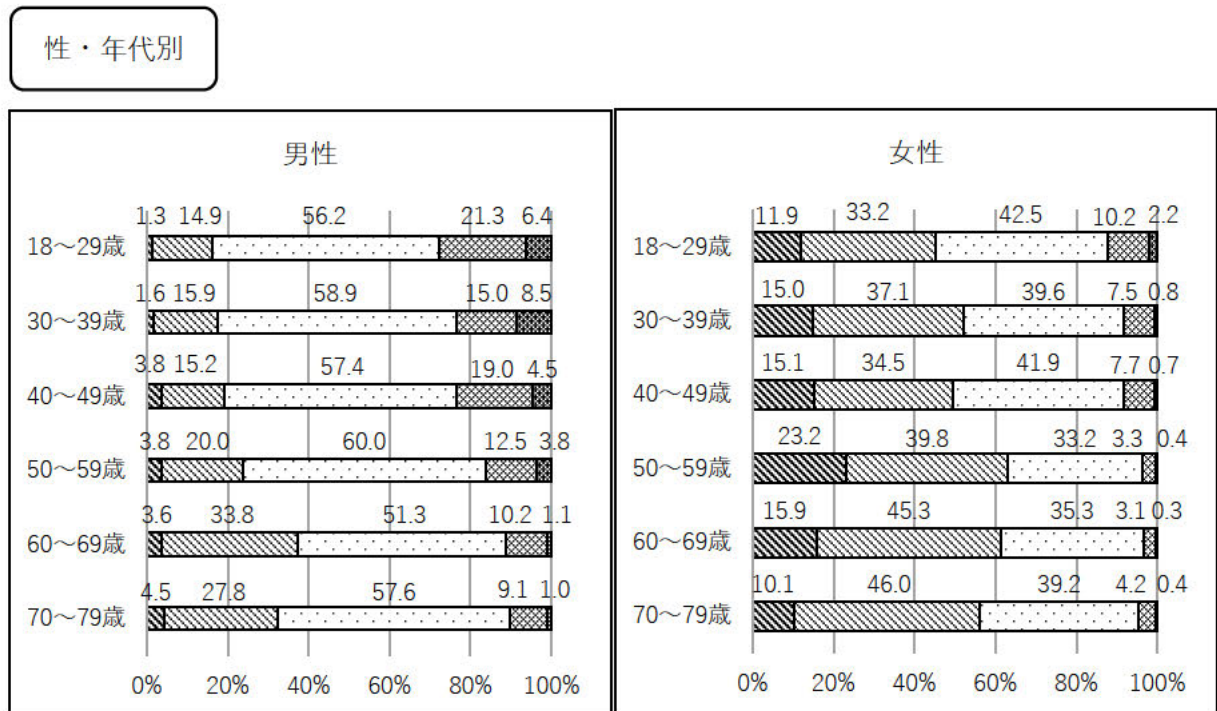
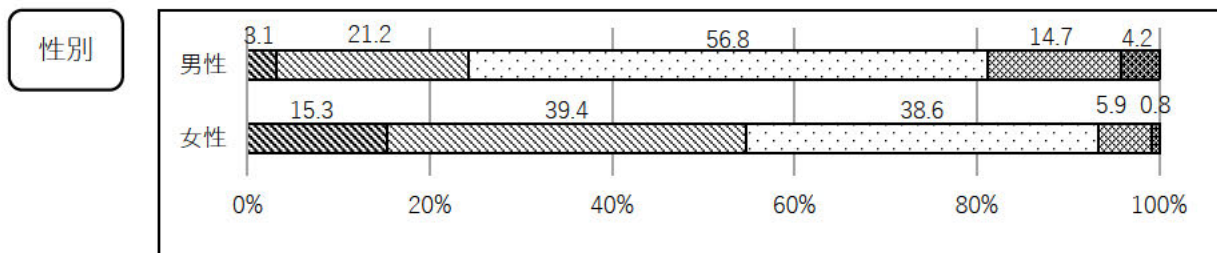
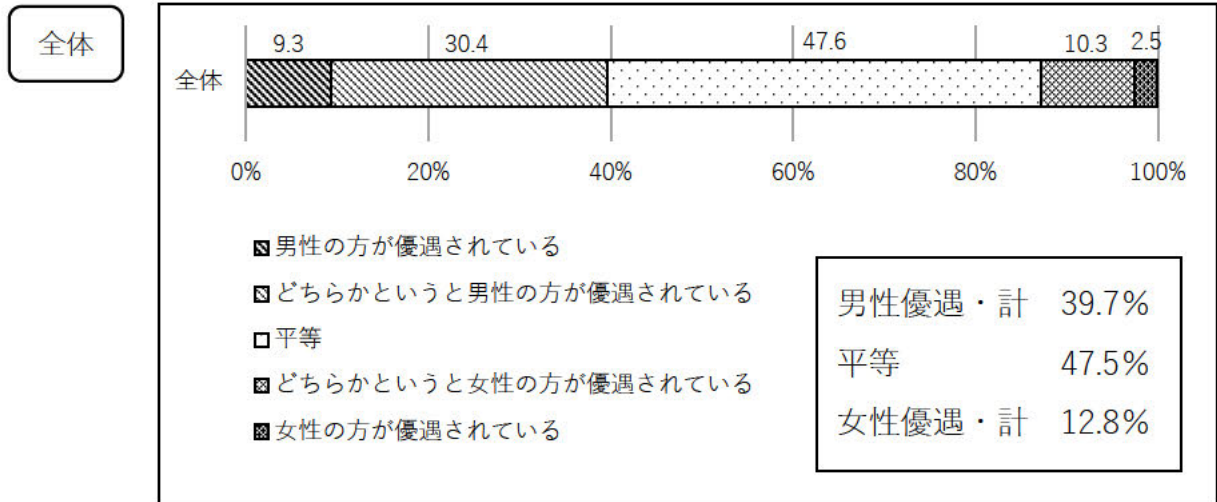


図 家庭におけるジェンダーに関する意識調査結果

出所：電通総研が実施したジェンダーに関する意識調査（2023年6月）より作成した。

小論文 出題の意図

入試年度： 2025（令和7）年度

入試名称： 編入学試験（日本文化学科）

入試実施日： 2024（令和6）年10月26日

※この「出題の意図」についての質問、照会には一切回答しません。

日本文化学科の授業を理解するための基本的な読解力、表現力、図表を把握する力を問う出題である。人文学的なテーマに関する論理的な文章を読解し、その内容についての適切な理解力をはかる設問と、グラフや図表などを通じて統計的なデータを読み解く基礎的な能力をはかる設問の2題を出題した。

大問1では、歴史学における言語論的転回をテーマとする歴史研究者による随筆文の読解を通じて、歴史と文化を理解するうえでの重要な問題意識に関する理解力を問うた。

大問2では、家庭における男女それぞれの平等意識をめぐるアンケート調査をもとにしたグラフを読み解くことを通じて、ジェンダーをめぐる問題についてエヴィデンスをもとに考察することを求めた。

2025

学科にかかわる筆記試験（国際コミュニケーション学科）

〔編入学試験〕

注 意

1. 試験開始の合図があるまでに、この注意をよく読んで、間違いのないようにしてください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないでください。
3. この問題の本文は 1 ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合は申し出てください。
4. 解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。解答用紙は 2 枚です。なお、下書き用の原稿用紙を 1 枚配布します（両面使用可）。
5. 文字ははっきり書いてください。解答の文字が読みにくい場合は点を与えないことがあります。
6. 解答用紙には受験番号を必ず記入してください。
7. 解答用紙の総点欄・小計欄には何も記入しないでください。

次の3問のうち2問を選択し、それぞれについて600字以内で答えなさい。

(解答用紙に選択した問題の番号を記入すること)

1. オリンピックとジェンダー

パリオリンピック・パラリンピックが開催された2024年は、1894年にクーベルタンらによって国際オリンピック委員会が設立されて130年目にあたる。第1回のアテネ大会では、男性選手のみが参加した。女性選手の参加が認められたのは、第2回のパリ大会からである。以来、多くの種目が「男子」「女子」という2つの枠組みで実施されてきた。近年では、男女混合種目も導入されつつあり、パリオリンピック・パラリンピックでは20種目が、男女がチームやペアを組む形で実施された。男女二元論的な性別の在り方に異議が申し立てられ、より幅広い枠組みが提示されていることを踏まえ、ジェンダーの多様性とスポーツの在り方について、あなたの考えを述べなさい。

2. 自然環境と観光

今年、日本を訪れる外国人旅行者は、コロナ前を上回り過去最高となる見通しである。しかし、外国人旅行者の主な訪問先は、東京や大阪などの3大都市圏に集中している傾向がある。政府は、地方を訪れる外国人旅行者を増やすため、全国の国立公園に高級リゾートホテルを誘致することを提案している。一方、国立公園は自然環境と生物多様性を保全する重要な保護地域としての役割もあり、国立公園内に大規模な宿泊施設を誘致することは、自然環境及び景観の破壊をもたらし、国立公園の価値の喪失につながるという指摘もある。自然環境と観光の在り方について、あなたの考えを述べなさい。

3. 災害からの復興と外国人人材

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、観光客だけではなく、技能実習生などとして現代社会のなかで生活する外国人も多数被災した。震災や台風などの自然災害による被害からの復興を目指す際に、現地でともに暮らす外国人と協力していくためにはどのような取り組みが必要だと考えられるか。あなたの考えを述べなさい。

小論文 出題の意図

入試年度： 2025（令和7）年度

入試名称： 編入学試験（国際コミュニケーション学科）

入試実施日： 2024（令和6）年10月26日

※この「出題の意図」についての質問、照会には一切回答しません。

国際コミュニケーション学科の教員や提供する講義の多様性を考慮して、人文科学、社会科学の枠にとらわれることなく、さまざまな分野に関心を持つ受験生が解答できる問題を用意した。

本学科への編入学生に求められる現代の国際問題への広い関心、その問題へのある程度の知識、関心の広がり、自らの問題関心に接続させるための理解力、論理力、思考力、表現力などを試すための問題である。